

介護労働者の研修ニーズ調査結果

＜介護労働者アンケート調査＞

介護労働者の研修ニーズ調査 ＜介護労働者アンケート調査＞ 概要

1 調査の目的

当センターが、平成20年度に取りまとめた「介護労働者のキャリア形成に関する研究会中間報告」から、介護労働者に対する研修の現状として、数は充実しつつあるが、内容やレベルにバラつきがあることが明らかになった。そのため、この調査では、研修対象者の経験・技能レベル等の各段階ごとに、①どのような研修が求められているか、②求められる研修を実施するためにはどのような取組が必要か等を把握し、研修内容や質及び適切な支援について検討する際の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査対象者数

全国の介護保険サービスを実施する事業所に所属し、介護保険サービスに従事している労働者の中から無作為に抽出した1,000名(500事業所を対象に2名ずつ回答を依頼)。

なお、原則として、介護福祉士1名、介護員養成研修各課程(介護職員基礎研修・訪問介護員養成研修)修了者1名に回答を依頼している。

【内訳】 訪問系…530名(265事業所) / 施設系…470名(235事業所)

3 調査実施期間

平成21年7月

4 調査方法

郵送によるアンケート調査

5 主な調査項目

- (1) 新人研修内容の現状と本来求められるべき内容 (2) 資格と研修についての現状
(3) 上位資格を目指さない職員に対する現場実践に適した研修の実施について (4) 非正規職員に対する研修の現状について
(5) 個人のライフスタイルに合った研修スケジュールについて (6) キャリアアップに関する相談の必要性

6 調査結果

有効回答者数 289名 (有効回答率 28.9%)

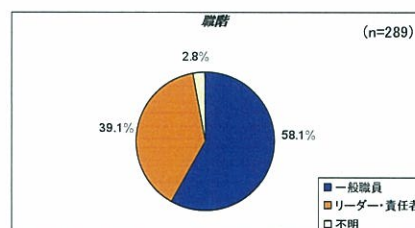
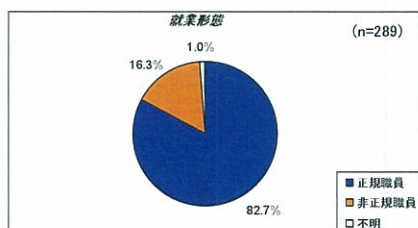
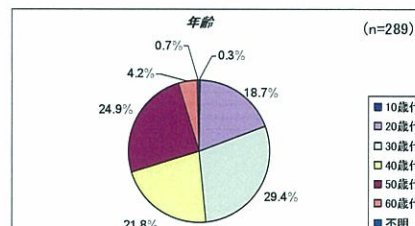
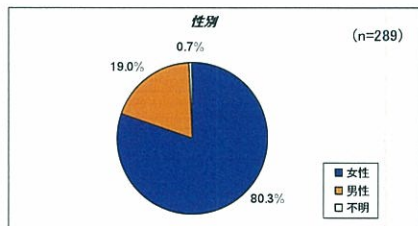
1 回答者の属性

【性別】「女性」が80.3%、「男性」が19.0%であった。

【年齢】「30歳代」が29.4%と最も多く、次いで、「50歳代」が24.9%、「40歳代」が21.8%、「20歳代」が18.7%であり、「10歳代」と「60歳代」はわずかであった。

【就業形態】「正規職員」が82.7%、「非正規職員」が16.3%であった。

【階級】「一般職員」が58.1%、「リーダー・責任者」が39.1%であった。

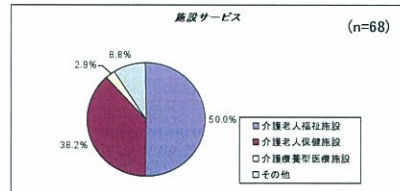
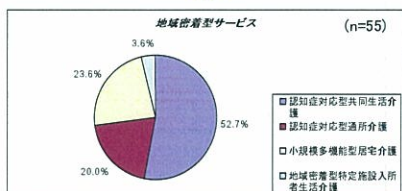
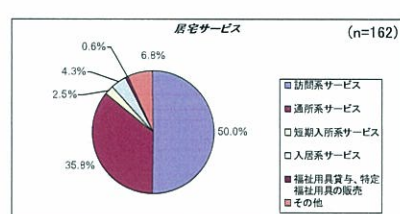
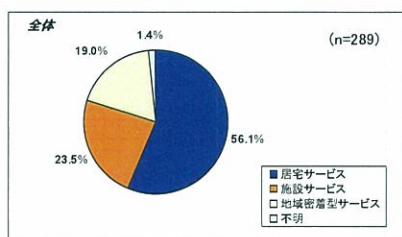


※リーダー・責任者: グループリーダー、ユニットリーダー、サービス提供者、主任及びこれらに相当する者と推定される。

2

2 就労しているサービス

全体では、「居宅サービス」が56.1%、「施設サービス」が23.5%、「地域密着型サービス」が19.0%であった。各サービスの内訳として割合が多かったのは、居宅サービスでは「訪問系」が50.0%、「通所系」が35.8%、施設サービスでは「介護老人福祉施設」が50.0%、「介護老人保健施設」が38.2%、地域密着型サービスでは「認知症対応型共同生活介護」が52.7%、「認知症対応型通所介護」が20.0%、「小規模多機能型居宅介護」が23.6%であった。

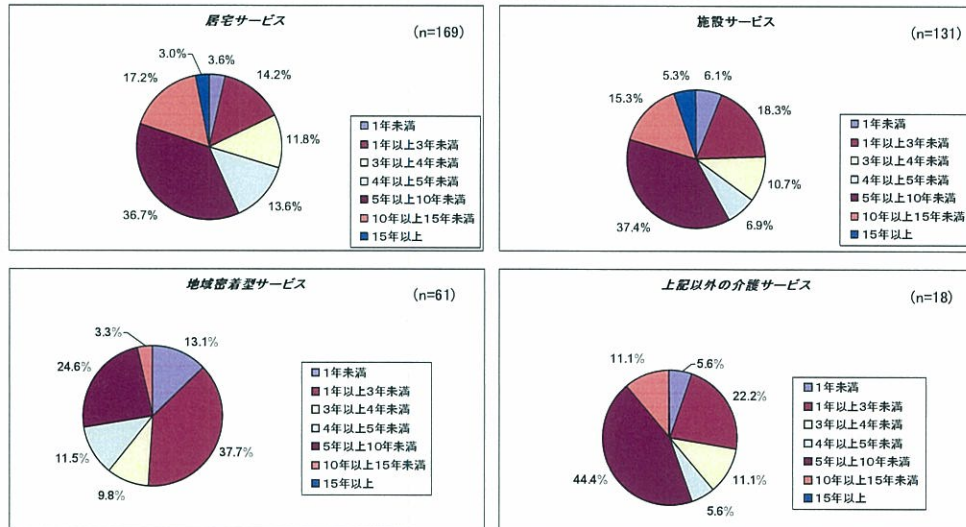


3

3 介護サービス従事年数(実務経験年数)

地域密着型サービスを除き、「5年以上10年未満」が最も多くなっている。地域密着型サービスについては、「1年以上3年未満」が最も多かった。

※複数のサービス経験がある場合は、それぞれのサービスにおける経験年数を回答していただいていること。

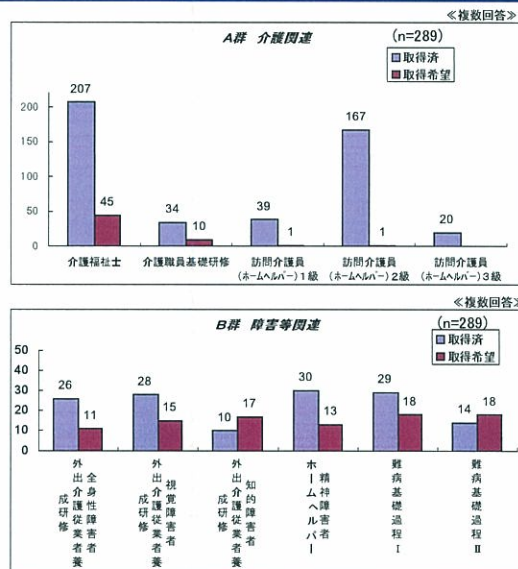


4

4 現在取得(修了)している資格等と今後取得(修了)を希望する資格等(1)

【A群 介護関連】 本調査の対象者を原則として、「介護福祉士」及び「介護職員基礎研修」又は「訪問介護員(1・2・3級)」としたことから、「介護福祉士」取得者(207名)と訪問介護員2級取得者(167名)が多い結果となった。

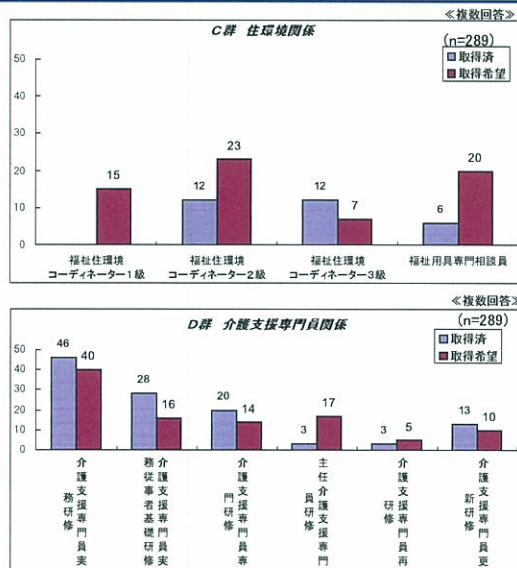
【B群 障害等関連】 全体として、取得済みが約30名、取得希望が15名前後であった。



5

4 現在取得(修了)している資格等と今後取得(修了)を希望する資格等(2)

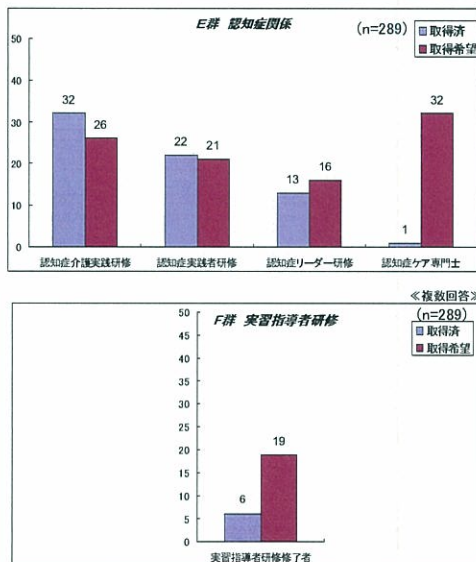
【C群 住環境関係】「福祉住環境コーディネーター」については、1級の取得者はいなかったが、今後取得を希望する方は、1級が15名、2級が23名、3級が7名であった。また、福祉用具専門相談員の取得希望者は20名であった。
 【D群 介護支援専門員関係】「介護支援専門員」の取得者が46名、今後取得を希望する方が40名と取得者・取得希望者とも最も多かった。また、よりレベルの高い研修を希望する方も見受けられる。



6

4 現在取得(修了)している資格等と今後取得(修了)を希望する資格等(3)

【E群 認知症関係】認知症介護実践研修修了者が32名と最も多く、よりレベルの高い研修を希望する方も見受けられる。また、認知症ケア専門士の取得希望者は32名であった。
 【F群 実習指導者研修】取得者が6名、今後取得を希望する方が19名であった。



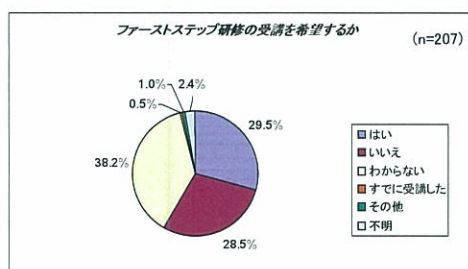
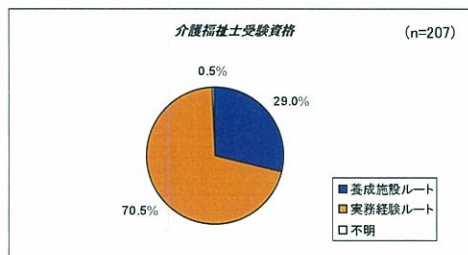
G群 その他の取得済資格

社会福祉士	9	医療・介護事務	1
社会福祉士主任任用	4	医療事務	1
社会福祉士	2	介護事務	1
社会福祉施設長	1	グループホーム(基)	1
認知症サポーター	1	ケアクラーク	1
認知症管理者研修	1	日産簿記3級	1
障害者相談支援従事者研修	1	簿記	1
レクリエーションインストラクター	6	防火管理者	1
介護予防運動指導員	1	甲種防火管理者	1
高齢者体力づくり支援士	1	美容師	1
福祉用具プランナー	1	理容師	1
短期専門コース(サービス提供責任者実務研修、痴呆性高齢者への対応)	1	保育士	4
BCSヘルスケアプロバイダー	1	保育	4
リスクマネジメント研修	1	幼稚園教諭(福祉)	4
リフレクソロジー・ケアセラピスト	1	エクセル2級	1
ユニバーサラー	1	ワード2級	1
栄養士	1	英検1級	1
調理師	6	有償移送サービス	1
公立小・中・高 地域リハビリテーション	1	大型自動車	2
介護保険請求事務	1	運転免許	1
歯科衛生士	1	自動車普通免許	1
車椅子フォークリフトインストラクター	1	原動機付自転車免許	1
加賀谷式音楽療法初級	1	LPG技能員	1
看護士	1	一般廃棄物管理者	1
看護士	1		

7

5 介護福祉士の受験資格・ファーストステップ研修の受講希望について<回答対象:介護福祉士資格取得者>

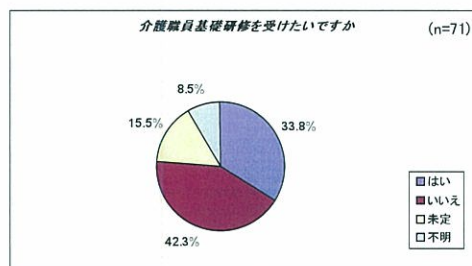
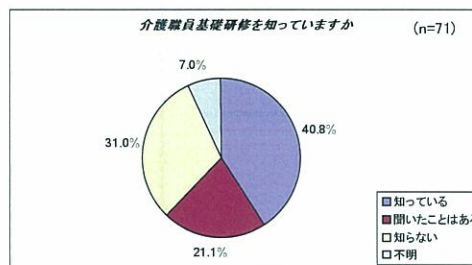
介護福祉士の受験資格については、「実務経験ルート」が70.5%、「養成施設ルート」が29.0%であった。また、ファーストステップ研修の受講を希望するかについては、「はい」が29.5%、「いいえ」が28.5%、「わからない」が38.2%であった。



8

6 介護職員基礎研修について(1)<回答対象:ホームヘルパー(1・2・3級)のみ取得者>

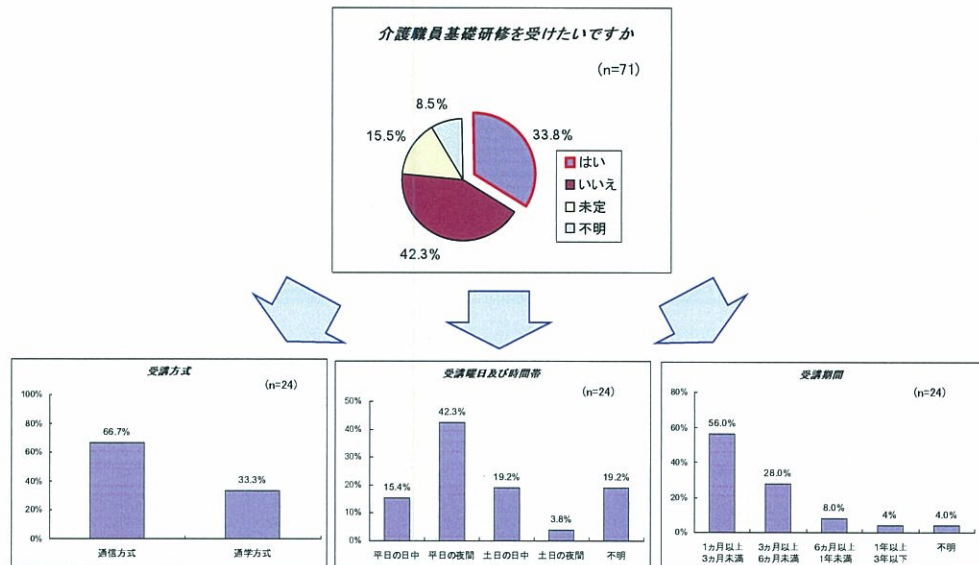
介護職員基礎研修を知っているかについては、「知っている」が40.8%、「聞いたことはある」が21.1%、「聞いたことはない」が31.0%、「知らない」が7.0%であった。また、本研修を受けたいかについては、「はい」が33.8%、「いいえ」が42.3%、「未定」が15.5%であった。



9

6 介護職員基礎研修について(2) <回答対象:ホームヘルパー(1・2・3級)のみ取得者>

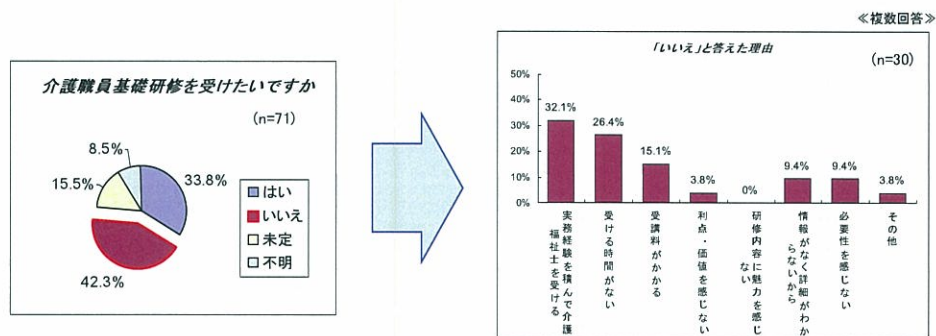
介護職員基礎研修を「受けたい」と答えた方(33.8%)に対し、受講方法等について聞いたところ、「通信方式」(66.7%)で「平日の夜間」(42.3%)に受講(勉強)したいとする意見が多かった。また、受講期間については、「1ヶ月以上3か月未満」が56.0%と最も多かった。



10

6 介護職員基礎研修について(3) <回答対象:ホームヘルパー(1・2・3級)のみ取得者>

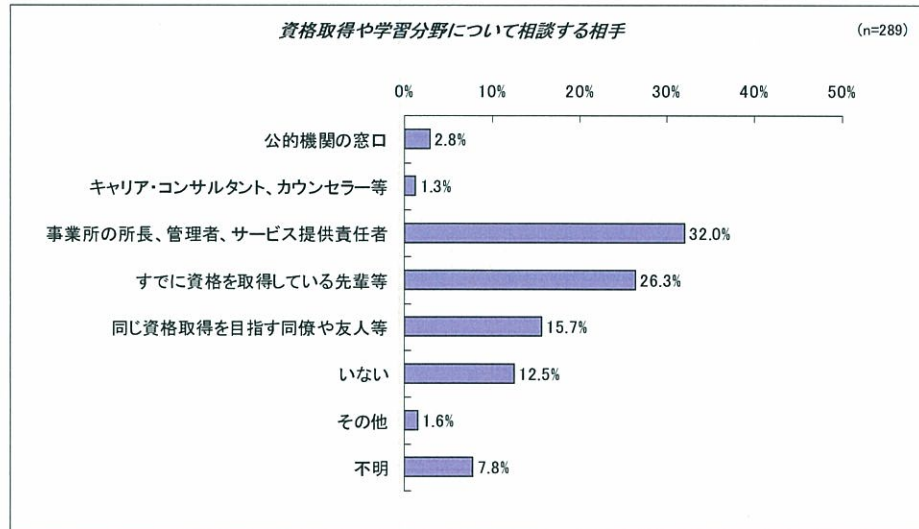
介護職員基礎研修を「受けたくない」と答えた方(42.3%)に対し、その理由を聞いたところ、「実務経験を積んで介護福祉士を受ける」が32.1%と最も多く、次いで、「受ける時間がない」が26.4%、「受講料がかかる」が15.1%であった。



11

7 上位の資格取得や自分自身が学習したいと考える分野について誰に相談するか

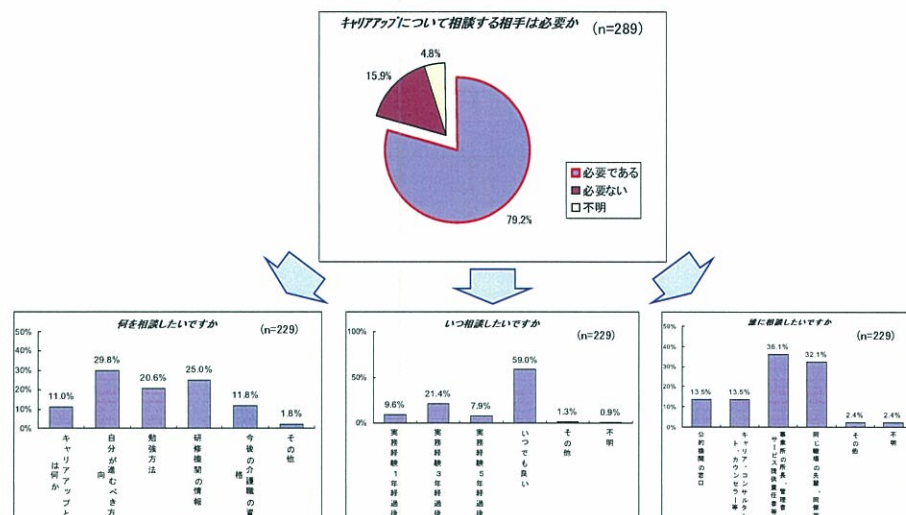
取得したい資格や学習したい分野について相談する相手としては、「事業所の所長、管理者、サービス提供責任者」が32.0%、「すでに資格を取得している先輩等」が26.3%、「同じ資格取得を目指す同僚や友人等」が15.7%、「いない」が12.5%であった。



12

8 自分自身のキャリアアップについて専門的に相談する人は必要か(1)

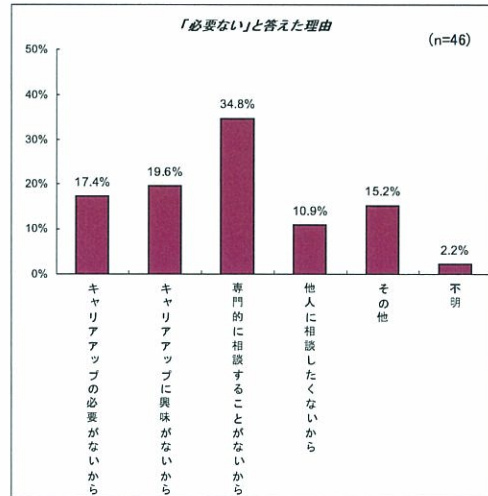
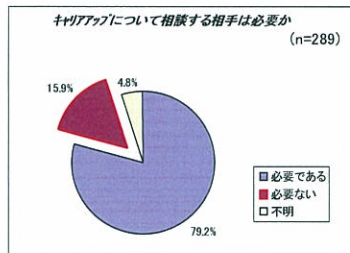
自分自身のキャリアアップについて、専門的に相談する人が「必要である」と答えた方(79.2%)が相談したい内容としては、「自分が進むべき方向」が29.8%、「研修機関の情報」が25.0%、「勉強方法」が20.6%となった。また、専門的に相談したい相手については、「事業所の所長、管理者、サービス提供責任者等」が36.1%、「同じ職場の先輩、同僚等」が32.1%、「公的機関の窓口」や「キャリア・コンサルタント、カウンセラー等」がそれぞれ13.5%であった。



13

8 自分自身のキャリアアップについて専門的に相談する人は必要か(2)

キャリアアップについて専門的に相談する人は「必要ない」と答えた方(15.9%)に、その理由を聞いたところ、「専門的に相談することがないから」が34.8%と最も多く、次いで、「キャリアアップに興味がないから」が19.6%、「キャリアアップの必要がないから」が17.4%であった。



14

9 現在の職場での研修について(1)

●本調査における研修内容(テーマ)については、下表のとおり。

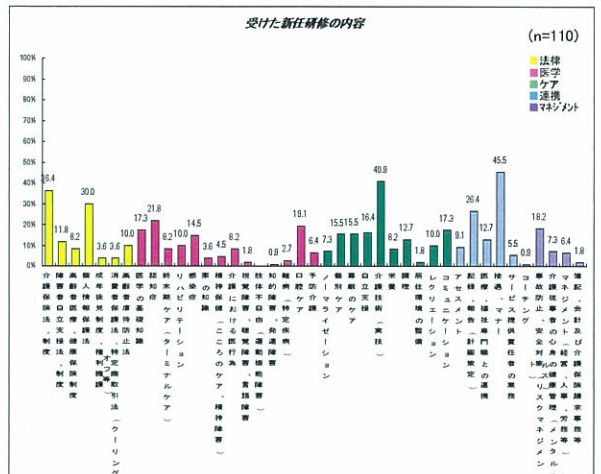
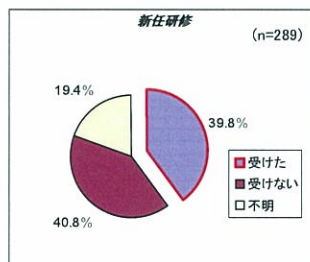
また、内容(テーマ)については、法律・医学・ケア・連携・マネジメントの各分野に分類している。

分野	法 律	医 学	ケ ア	連 携	マネジメント
研修内容	1 介護保険法・制度	8 医学の基礎知識	22 ノーマライゼーション	32 アセスメント	41 簿記・会計及び介護保険請求事務等
	2 障害者自立支援法・制度	9 認知症	23 個別ケア	33 記録・報告(計画策定)	40 マネジメント(経営・人事・労務等)
	3 高齢者医療・健康保険制度	10 終末期ケア(ターミナルケア)	24 尊厳のケア	34 医療・福祉専門職との連携	39 介護従事者の心身の健康管理(メンタルヘルス)
	4 個人情報保護法	11 リハビリテーション	25 自立支援	35 接遇・マナー	38 事故防止、安全対策(リスクマネジメント)
	5 成年後見制度・権利擁護	12 感染症	26 介護技術(実技)	36 サービス提供責任者の業務	
	6 消費者保護防止法	13 薬の知識	27 栄養	37 コーディング	
	7 高齢者虐待防止法	14 精神保健(こころのケア、精神障害)	28 調理		
		15 介護における医行為	29 居住環境の整備		
		16 視覚障害、聴覚障害、言語障害	30 レクリエーション		
		17 肢体不自由(運動機能障害)	31 コミュニケーション		
		18 知的障害、発達障害			
		19 難病(特定疾病)			
		20 口腔ケア			
		21 予防介護			
			22 ノーマライゼーション		
			23 個別ケア		
			24 尊厳のケア		
			25 自立支援		
			26 介護技術(実技)		
			27 栄養		
			28 調理		
			29 居住環境の整備		
			30 レクリエーション		
			31 コミュニケーション		
			32 アセスメント		
			33 記録・報告(計画策定)		
			34 医療・福祉専門職との連携		
			35 接遇・マナー		
			36 サービス提供責任者の業務		
			37 コーディング		
			38 事故防止、安全対策(リスクマネジメント)		
			39 介護従事者の心身の健康管理(メンタルヘルス)		
			40 マネジメント(経営・人事・労務等)		
			41 簿記・会計及び介護保険請求事務等		

15

9 現在の職場での研修について(2) ー新任研修①ー

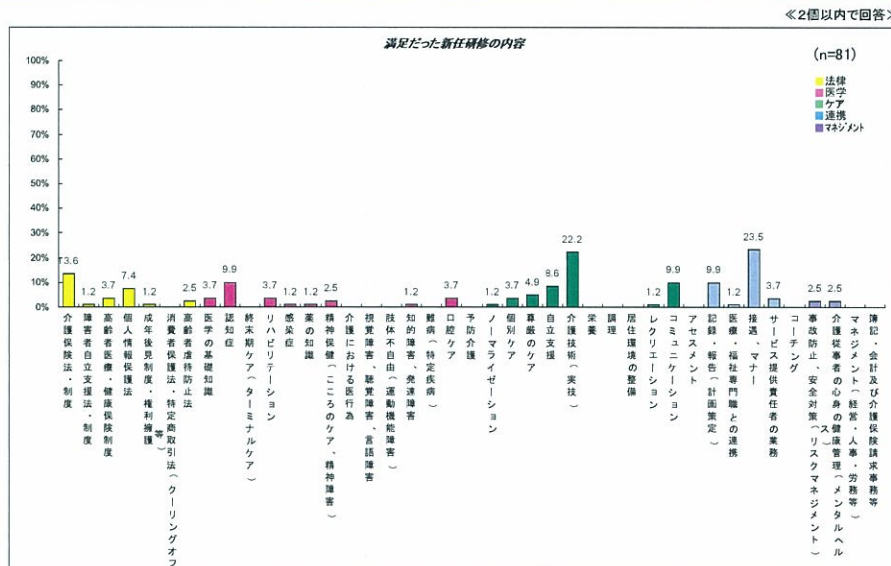
新任研修について聞いたところ、「受けた」が39.8%、「受けていない」が40.8%であった。受けた研修で多いものとしては、「接遇・マナー」、「介護技術(実技)」、「介護保険法・制度」、「個人情報保護法」などとなっている。



16

9 現在の職場での研修について(3) ー新任研修②ー

新任研修のうち、「満足」の回答が最も多かったのは「接遇・マナー」の23.5%であり、次いで、「介護技術(実技)」(22.2%)、「介護保険法・制度」(13.6%)となっている。



17

新任時に受けた研修のうち、「不満足」の回答が最も多かったのは「介護保険法・制度」の29.6%であり、また、不満足だったものについて理由を聞いたところ、「時間・日数」が36.1%で最も多く、次いで、「カリキュラム」が22.2%となっている。

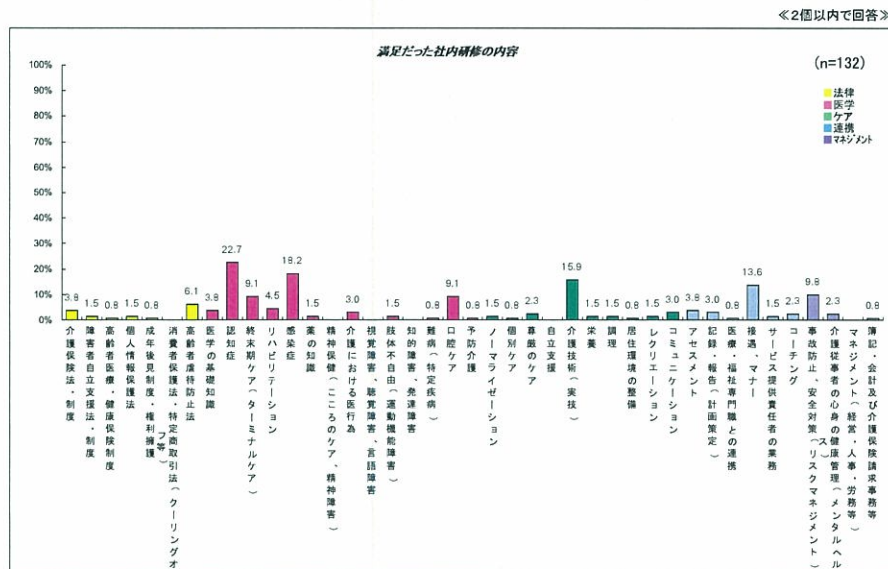


社内研修について聞いたところ、「受けた」が60.6%、「受けていない」が24.6%であった。また、受けた研修で多いものとしては、「感染症」、「認知症」、「事故防止・安全対策(リスクマネジメント)」、「介護技術(実技)」、「接遇・マナー」、「口腔ケア」などとなっている。



9 現在の職場での研修について(6) ー社内研修②ー

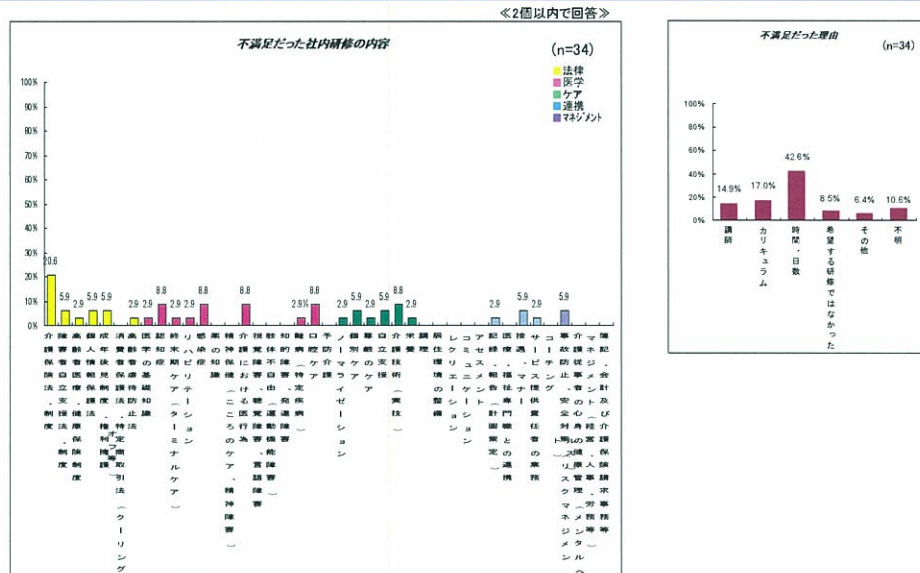
社内研修のうち、「満足」の回答が最も多かったのは「認知症」の22.7%であり、次いで、「感染症」(18.2%)、「介護技術(実技)」(15.9%)となっている。



20

9 現在の職場での研修について(7) ー社内研修③ー

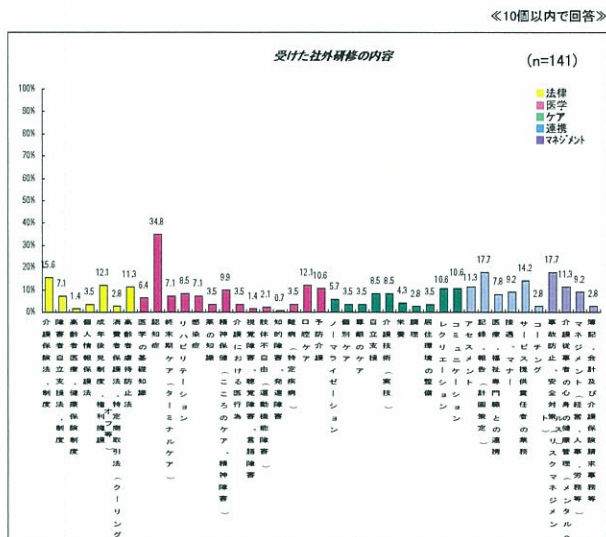
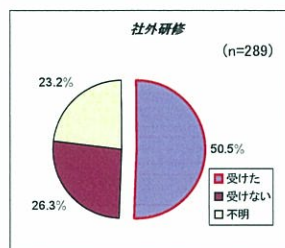
社内研修のうち、「不満足」の回答が最も多かったのは「介護保険法・制度」の20.6%であり、また、不満足だったものについて理由を聞いたところ、「時間・日数」が42.6%で最も多く、次いで、「カリキュラム」が17.0%、「講師」が14.9%となっている。



21

9 現在の職場での研修について(8) 一社外研修①一

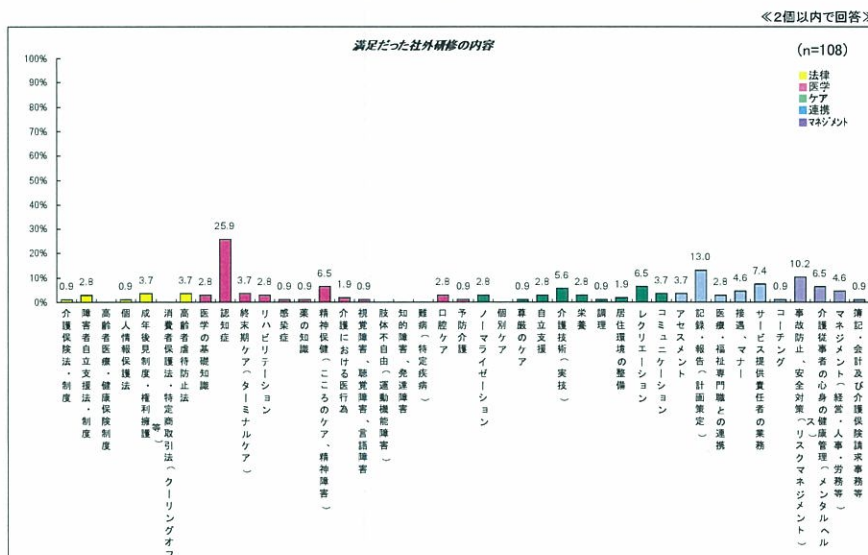
社外研修について聞いたところ、「受けた」が50.5%、「受けていない」が26.3%であった。受けた研修で多いものとしては、「認知症」が突出しており、次いで、「記録・報告(計画策定)」、「事故防止・安全対策(リスクマネジメント)」、「介護保険法・制度」などとなっている。



22

9 現在の職場での研修について(9) 一社外研修②一

社外研修のうち、「満足」の回答が最も多かったのは「認知症」の25.9%であり、次いで、「記録・報告(計画策定)」(13.0%)、「事故防止・安全対策(リスクマネジメント)」(10.2%)となっている。



23

社外研修のうち、「不満足」の回答が最も多かったのは「事故防止・安全対策(リスクマネジメント)」の12.5%であり、また、不満足だったものについて理由を聞いたところ、「カリキュラム」が35.9%で最も多く、次いで、「講師」が20.5%、「時間・日数」が15.4%となっている。

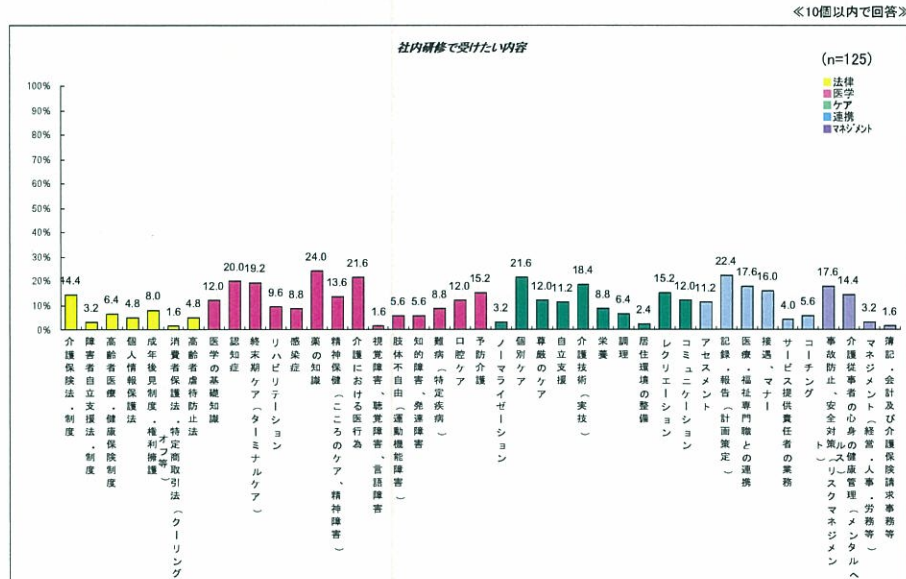


新任時に受けたかった内容としては、「介護保険法・制度」及び「医学の基礎知識」が最も多く、次いで、「認知症」、「介護技術(実技)」、「介護における医行為」などとなっている。



10 研修ニーズ(2) ―今後、社内研修として受けたい研修―

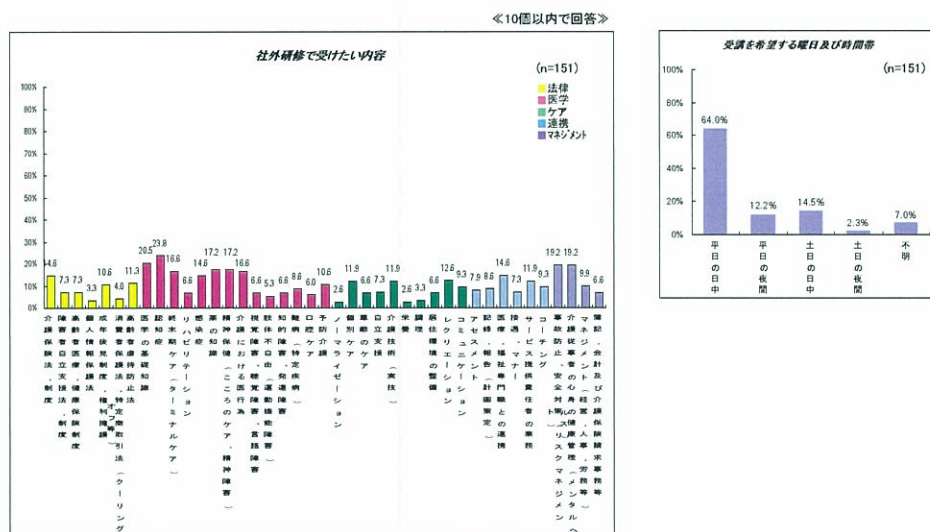
社内研修として受けたい内容としては、「薬の知識」が最も多く、次いで、「記録・報告(計画策定)」、「介護における医行為」、「個別ケア」などとなっている。



26

10 研修ニーズ(3) ―今後、社外研修として受けたい研修―

社外研修として受けたい内容としては、「認知症」が最も多く、次いで、「医学の基礎知識」、「事故防止・安全対策(リスクマネジメント)」、「介護従事者の心身の健康管理(メンタルヘルス)」などとなっている。また、受講希望時間としては、「平日の昼中」が64.0%と最も多くなっている。



27

11 現在の職場における新任時のOJTについて

新任時のOJTについては、「受けた」が63.0%、「受けなかった」が32.9%であった。また、研修を受けた時間や期間については、「ちょうど良い」が63.7%。満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせて74.8%という結果であった。その一方で、満足度について、「どちらでもない」、「やや不満」、「不満」と答えた方が25.7%であり、その理由として、「指導内容」が45.8%、「指導方法」が35.4%であった。

